

委員評価シート

- **太字斜体**：委員からの質問・意見として、別途回答を作成しました。
- **二重下線**：計画の進行管理に関するご意見として、次年度以降の年次報告書の参考とさせていただきます。

第1編 ごみ処理基本計画

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
基本目標	ごみの年間総排出量	ごみの年間総排出量	A	A
	市民1人1日当たりの排出量	市民1人1日当たりの排出量		
	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量	市民1人1日当たりの資源物を除く排出量		
	リサイクル率	リサイクル率		
	最終処分率	最終処分率		
評価理由				
・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同様です。【松山】 ・すべての項目について減少の成果となっていて評価を認めます。目標達成率も努力の結果と認めます。【渡邊】 ・数値は未達ですが、全体的に90%を超えているのでA。【八幡】 ・数値目標の達成率が高く、成果が目に見える形で出てきているから。【日高】 ・全施策で目標達成率90%を超えており、前年度比も各施策で効果が現れているのでAとしました。【中村】 ・目標達成とはならなかったが、ゴミの減量、リサイクル率の向上が出来ていたので評価をAとしました。【坂本】 ・ごみ有料化の効果がでて、ごみの排出量が減少している。【安齋】 ・市による評価とその考え方は概ね適切と考える（以下、他の項目についても特記しない限り、同じ）【橋詰】 ・いずれの評価指標においても、年度ごとの目標値には届いていないものの、前年度からの改善がみられるため、A評価とする。【湯浅】 ・何れも目標値を90%超えの為評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・最終処分率以外、目標を達成できていないことは残念ですが、前年度より僅かでも良くなっていることは評価できます。ごみの排出量は横這い状態で、減少させるには更なる施策が必要だと思います。目標達成を目指してご努力をお願いします。【大野】 ・行政側が考える『まだまだリサイクルできるはず』を消費者にどう伝えられるかがポイントだと感じる。【舟木】 ・ごみの年間配送排出量が減少しているにもかかわらず、リサイクル率が年々向上している状況は市民の分別意識向上はじめ市の取り組みと各方面の努力によるものと推察します。年度ごとの目標が策定されていますが、他自治体と比べた場合どうなのか。あるいは先進事例の調査研究を進めていくなどより資源化率が高まる取組みも検討されるのが良いかと考えます。【松山】 ・ゴミの減量化、リサイクル率の向上が進んでいる一方、不適正排出（特に紙類）が増えているように感じます。不適正排出に対しての対策、対応の強化を今後行って欲しいと考えます。【坂本】 ・いわゆる「プラ新法」に対応し、リサイクル率を向上させるように情報提供を続けていく必要がある。【安齋】 ・ごみの排出量（分母）、資源化量（分子）の両方が減少する中で、ごみ処理基本計画の基本目標に関する評価指標として、リサイクル率等が適切か（他にも適切なものがないか）は、次期計画等における要検討事項。【橋詰】 ・「取組概要」において事業系廃棄物についての言及があるが、該当する施策の中には事業系廃棄物という言葉がなく、提示されているデータの中に事業系廃棄物が含まれているのかどうか、はっきりしない。どのデータに事業系廃棄物が含まれていて、どのデータに含まれていないのか、示した方がよいと思われる。【湯浅】				

【基本方針Ⅰ】ごみの発生抑制・再使用・再生利用の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
十.リフューズの推進	①マイバッグ運動・レジ袋対策の推進	活動実績	—	—
評価理由				
取組概要に対する意見				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
2. リデュースの推進	①環境を意識したごみの排出抑制の啓発	市民1人1日当たりの排出量	A	A
	②ごみ減量・リサイクル推進店の活動支援	活動実績		
	③生ごみ処理容器等の普及の推進	生ごみ処理容器等の購入基数		
	④ごみの排出抑制・減量化に繋がる諸制度の検討(重要検討施策)	検討の有無		

評価理由

- ・市の評価理由に同じ。【大野】
- ・市の評価理由と同じ【舟木】
- ・市の評価理由と同様です。【松山】
- ・数値目標は未達ですが、各取り組みは評価できるのでA。【八幡】
- ・多面的な施策が奏功して、成果が出ていると考えるから。【日高】
- ・施策①③目標達成率も高く、また施策④の戸別収集導入の検討もあり全体としてAとしました。【中村】
- ・リサイクル推進店の新たな登録はなかったものの、その他の目標に対して、一定の成果が出ていた為、評価をAとしました。【坂本】
- ・ごみ減量に向けた啓発活動が実施され、新たな制度の検討が進められたので、A評価とする。【安齋】
- ・様々な成果が出ており、肯定的に評価できる(A+?)【橋詰】
- ・継続的な啓発活動に加え、生ゴミ処理容器の購入補助やフードドライブの推進により、一定の前進がみられる。【湯浅】
- ・数値目標は何れも90%を超えた為評価をAとした。【堀部】

取組概要に対する意見

- ・ごみ減量に資する施策の一層の推進をお願いします。【大野】
- ・③生ごみ処理容器他普及啓発にはHPに加え、LINEでの友達登録を増やす方法で消費者に情報提供する機会を増やしてみてもどうか。【舟木】
- ・ペットボトルの水平リサイクルに関する協定について、次年度以降は数値目標など、具体的に見るとよいかと考えます。
- ・リサイクル推進店制度に代わる、廃棄物を抑制する取組を検討するのも良いかと考えます。(民間で行っている、ポイントと紐づけるような取組。優良な取り組みをしている事業者に対して報奨金制度。分別のゴミ箱の設置、処理フローの透明化による入札加点など)
- ・次年度以降、戸別収集によるゴミ減量効果や経費対比も今後の検討材料として確認するのも良いかと考えます。【松山】
- ・フードドライブや給水スポット設置の継続を今後も続けて頂きたいと思います。製品プラスチック及び戸別収集の検討に関して、車両購入後、納車までの期間や、教育期間の人件費など様々な部分に関しても検討して頂きたいと思います。【坂本】
- ・市民の要望が強い生ごみ処理容器の普及に関する補助事業について、より多くの予算を確保するように努めてほしい。戸別収集に関する試行について、分析を進めてほしい。また、プラ新法で使用される用語の解説等、市民への周知を進めてほしい。【安齋】
- ・②については、プラ新法等も踏まえ、市内の製造業者・販売業者を対象とした新たな推奨制度を検討すべき。【橋詰】
- ・戸別収集の導入にあたっては、自治会・町内会活動への影響などについて不安をもつ市民もいるので、市民からの意見を丁寧に聞き取って、対応することが必要と思われる。【湯浅】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
3. リユースの推進	①リサイクル市・フリママーケット等の開催情報の提供【廃止】	活動実績	B	
	②リサイクル品の活用推進	リサイクル品展示数		

評価理由

- ・市の評価理由に同じ。【大野】
- ・市の評価理由と同じ【舟木】
- ・市の評価理由と同様です。【松山】
- ・事務局案のとおりB。【八幡】
- ・リサイクル品の活用推進という課題に対して、その効果については十分とは感じられなかったため。【日高】
- ・市全体のごみ量削減に対する効果が限定的であったと言うことでBにしました。【中村】
- ・市全体のごみ量削減に対する効果が限定的であったとありましたので、評価をBとしました。【坂本】
- ・リサイクル品を展示し、引き渡されたことから、A評価とする。【安齋】
- ・リサイクル品の展示と引き渡しを継続的に実施し、寄付金も集めている。【湯浅】
- ・効果があったとは言い難い為、評価をBとした。【堀部】

取組概要に対する意見

- ・リユースの推進は、市の活動だけでなく、民間の協力も得て進めたほうがよい。【大野】
- ・特になし【舟木】
- ・取組概要の評価について、数値外での算定となります限定的な効果ということを鑑みてのことですが、たとえば出品数の昨年対比や目標数値を定めるなど、数値目標を出していただけると評価の材料を増やす。
- ・リサイクル品の展開について、藤沢市では製品プラスチックを直して、環境フェアでの販売している商品プラスチックリユース事業がある。人気ですぐに売り切れになってしまうのを目にしたことがあるが、障がい者雇用の一助になっているので、予算の兼ね合いや障がい者の管理体制などの兼ね合いもあるかと思いますが、今後検討してもよいかと考えます。【松山】
- ・リサイクル品の出品が20点、年間を通して出品できるような品が20点なのであれば、そのままでは出品出来ない物をリメイクし販売するなど付加価値を加えるのを検討してみてもよいと考えます。【坂本】
- ・数値目標が設定されていない評価項目で、リサイクル品の数が少ないことを評価理由とすることに問題点がある。市の取組み概要にある通り、効果は限定的であり、家具等のリサイクル品の処理スキームを見直す必要がある。【安齋】
- ・「リサイクル品展示数」を評価指標としているが、今年度の品数は記載があるものの、前年度の数については記載がないため、前年度からの変化がわかりにくい。参考値として、前年度の分の記載があるとよいのではないか。【湯浅】
- ・常時リユース品を購入出来る場があると良いかと思えます。【堀部】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
4. リサイクルの推進	①剪定枝資源化の推進	活動実績	A	
	②適正分別のための情報提供（重点施策）	周知実績		
	③集積場所における適正排出の指導	実施の有無		
	④家電リサイクル推進の継続	周知実績		

評価理由

- ・活動は十分評価できる。【大野】
- ・市の評価理由と同じ【舟木】
- ・市の評価理由と同様です。【松山】
- ・目標達成のためA。【八幡】
- ・各施策の項目について、実績としては達成しているが、効果については十分でないと感じたから。【日高】
- ・施策①の前年度比増になっており、また各活動により、市民のリサイクルに対する意識も向上しAとしました。【中村】
- ・剪定枝の資源化増等の一定の成果あったとの事なので、評価をAといたしました。【坂本】
- ・リサイクルに関する各施策が定着し、順調に推移しているため、A評価とした。【安齋】
- ・剪定枝や家電のリサイクルについて積極的に取り組み、実績を伸ばしている。web検索ツールの内容の充実を図り、市民が取り組みやすくなるような仕組みづくりを進めている。【湯浅】
- ・資源化の大幅増、やWebを充実させた事から評価をAとした。【堀部】

取組概要に対する意見

- ・稼働を継続していただきたい。【大野】
- ・**環境指導員の方に依頼した情報を取りに行ける仕組みはどんなものがありますか。【舟木】**
- ・焼却にまわっていたであろう剪定枝の回収は引き続き、回収効率・費用面も加味しながら推進していくのが良いと考えます。
- ・リチウム電池など、情勢に合わせた特定品目のリサイクル推進というように、「家電リサイクル推進」に限らず、扱って評価するのはいかがでしょうか。【松山】
- ・剪定枝の利用目的、方法のアピールをもっと積極的に。【渡邊】
- ・特にありません。【坂本】
- ・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に対応した適正分別の為の情報提供を強化していく必要がある。【安齋】
- ・引き続き、市民にわかりやすい形で周知を進めることが重要である。【湯浅】
- ・① **無料で配布されている草木灰は無料でなくても良いのではないか。**
- ・② Webは高齢者には難しいので、それをどう解消するかが課題だと思う。
- ・③ ゴミ問題は環境部と環境指導員だけで解決できる問題では無い。特に茅ヶ崎は観光地でもある為、ゴミを出すのが市民だけでは無いのが問題である。また近年急激に住宅が増えた為、新しいゴミ集積所を作るのにかなり苦労している。これらを含め、**年二回ある意見交換会には観光を担当する部署や開発の部署にもぜひ出席していただきたい。**
- ・④ **回収ボックスの口がもう少し大きければと思う。【堀部】**

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
5. 事業系一般廃棄物の排出抑制・資源化の推進	①「4R推進事業者行動協定」の創出【廃止】	実施の有無	B	
	②多量排出事業者における減量化等計画書の提出（重点施策）	提出数		
	③事業系ごみの排出状況の把握（重点施策）	実施の有無		
	④事業者の訪問（重点施策）	訪問件数		
	⑤事業系直接搬入ごみの分別指導（重点施策）	定期的な指導		

評価理由

- ・市の評価に同じ。【大野】
- ・市の評価理由と同じ【舟木】
- ・②については、計画通りの提出数のためAと考えます。③については、排出状況の把握に向けて搬入物検査を行ったのでAと考えます。⑤については定期的な指導を行っているためAと考えています。指標に基づく評価はAが3つBが1つと、各項目Aが多いですが、事業系一般廃棄物の抑制に対して、効果的な施策となっておらずBとしました。【松山】
- ・推進への努力は認めます。【渡邊】
- ・事務局案のとおりB。【八幡】
- ・市の評価理由のとおり、課題解決の効果については、十分とは感じられないので。【日高】
- ・事業系ごみの排出量の減少が見られなかったことからBにしました。【中村】
- ・全ての項目において、成果を得られなかったとして、評価をBとしました。【坂本】
- ・事業系ごみの排出削減のための4つの重点施策が実施されたのにも関わらず、事業系ごみの排出削減につながらない現状は、深刻に捉えるべきである。【安齋】
- ・多量排出事業への減量化等計画書の提出依頼や訪問による確認などの指導を強化している点は評価できるが、ごみの排出量に顕著な効果が見られない。【湯浅】
- ・②～⑤について、努力はされていると思うが、結果に結びついていない為評価をBとした。【堀部】

取組概要に対する意見

- ・事業系ごみが減少しない理由について、意識の問題か、物理的問題かなどを分析し、それに基づく一層の施策が必要と思われる。【大野】
- ・事業者にもメリットがないと排出量を抑制することはできないと感じる。【舟木】
- ・上記の内容から、項目目標に対して、従来の施策だけでは効果的な改善は見込めないと考えます。またコロナ以降、経済活動が活発になっている以上、事業系ごみの排出の抑制は難しい課題と考えます。
- ・事業系一般廃棄物の減量化において、①生ごみ等の事業系ごみのそもそもの減量化と②不適正産廃物の混合の抑制に大別できるかと考えます。
- ・産業廃棄物の処理費は、高いイメージがあるので、適正排出するとかえって処理費用がかさみ、事業者への負担となるため分別に進まないという状況もあるかと推測します。適正に分別した事業者に対して、産業廃棄物に対しては、補助や助成金など、何かしらインセンティブを与える施策はいかがでしょうか。【松山】
- ・また減量化には直接つながりませんが、例えば、畑で使うマルチは、分解性のものがあります。環境負荷の低い資材を選びやすい補助金・奨励金制度の検討などいかがでしょうか。【松山】
- ・取組概要の説明を見るならAランクと思う。【渡邊】
- ・前年の評価シートにも書かせてもらいましたが、事業系ごみの搬出量に関して、今後もしばらくは減少しないと考えます。
- 現在においても事業系ごみの問い合わせがあることから、まだ事業者が家庭ごみとして排出していることが考えられます。【坂本】
- ・事業系ごみが減少しない原因を分析することが重要である。多量排出事業者の作成した減量化等計画書の達成状況を確認する必要がある。【安齋】
- ・③の事業系一般廃棄物搬入物調査による「排出状況の実態把握」の概要、また、以前と比較して変化があるかを示してほしい。【橋詰】
- ・事業系廃棄物の排出量についての記載があると、わかりやすくなると思われる。【湯浅】
- ・チラシをポスティングしても読まれなければ意味がないので、事業者にはチラシを渡すと同時に直接説明する事も大事だと思う。また、新たに開業する事業者に対し、届が出てきた段階で、ゴミの排出に関して、指導すべきだと思う。【堀部】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
6. 受益者負担の適正化	①ごみ有料化の検証	実施の有無	A	A
	②一般廃棄物処理手数料改定の検証	実施の有無		
評価理由				
・市の評価に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同じです。【松山】 ・ごみの減量効果が検証されている。【八幡】 ・収支の状況や減量効果の周知は、受益者負担の効果について知っていただき、持続可能な取り組みとして位置づることとなると考えるから。【日高】 ・ホームページ等で有料化が周知徹底されてきてますのでAとしました。【中村】 ・全ての項目において、成果が得られたとの事なので、評価をAとしました。【坂本】 ・ごみ有料化の検証等、施策の実行が確認できたので、A評価とする。【安齋】 ・ごみの有料化は、丁寧な説明などもあり、大きな混乱なく受け入れられたものと評価できる。また、導入によるごみの減量効果に加え、収支状況について公開している点も評価できる。【湯浅】 ・有料化による減量効果が着実に表れている為評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・改定は必要があればその理由を明確にして実施すべきである。【大野】 ・特になし【舟木】 ・近隣市の処理費の改定が令和7年度に控えているので、その影響についても加味したモニタリングが必要と考えます。【松山】 ・ごみ有料化の施策は成功と思います。【渡邊】 ・特にありません。【坂本】 ・ごみ有料化の検証に加え、戸別収集の試行についても検証項目に加えていく。【安齋】 ・②の「一般廃棄物処理手数料の収支状況」については、前回審議会で申し上げたように概略を示すとともに、有料化が減量効果だけではなく、ごみ処理事業（又は市全体）の財政上の効果もあることを市民に説明すべき。【橋詰】 ・手数料について、引き続き市民に丁寧な情報提供をすることが必要である。【湯浅】				

【基本方針Ⅱ】資源循環型まちづくりを目指したごみ処理システムの構築

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 収集・運搬 (1)ごみを取り巻く環境の変化に対応した収集・運搬の検討	①効率的でバランスの良い収集区割の調査・検討	実施の有無	A	A
	②今後の社会情勢を踏まえた集積場所のあり方、収集方法の検討（重要検討施策）	実施の有無		
評価理由				
・取り組みは評価できる。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・戸別収集実験事業に対する収集体制の構築について、人材難、車両導入が大変な中、準備ができたことは大いに評価すべきと考えます。【松山】 ・ごみ収集の効率化が図られているのでAとします。【八幡】 ・新しい収集方法の模索・実践等よりよい収集に向けて、十分効果が感じられるから。【日高】 ・戸別収集実験事業の実施で収集方法の検討されてますのでAにしました。【中村】 ・集積場所が増える中、増車することなく収集運搬することができたので、評価をAとしました。【坂本】 ・各施策が実施され、収集方法の検討（戸別収集）が行われたことから、A評価とする。【安齋】 ・戸別収集の導入に向けた検討や取り組みを着実に進めているほか、適切な収集運搬体制の維持に向けた対応を行っている。【湯浅】 ・① 既存のコースの見直し、「戸別収集実験事業」に向けた実施体制の構築を行った事。 ・② 戸別収集を希望している市民としては、ステーションを維持する取り組みは、戸別収集に移行する気が無いのかと思わなくは無いが、地域により事情は異なる為、検討は大切であり検討を続けることは評価できる為評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・現在の取り組みを継続していただきたい。【大野】 ・戸別収集実験で得たデータ分析に基づいて、ベイベーステップでの実現を期待します。【舟木】 ・ステーション維持あるいは戸別収集、併用方式など、費用面や地域住民の声を拾って、本市の特性にあった収集方式のあり方を引き続き研究してほしい。【松山】 ・戸別収集にする事は経費の増大になる事は理解が出来ます。資源ごみをステーションへ持って行く手間（老人の件や距離の問題）が大きい為、資源物も出来れば戸別収集を検討してもらいたい。【渡邊】 ・実際に戸別収集をしていただいている地区に住んでいます。地域の方の反応も上々な印象を受けますし、自分も助かっています。【日高】 ・集積場所増加により、乗り降りの回数が増えたり、ビンカンペットなどの容器を使用する品目はネット、コンテナ数が増えたりと作業員の負担が増大している。また近年、夏場の暑さが非常に厳しくなっている為、熱中症対策をしっかりと行う必要がある。今後は増車も含めたコースの見直し等検討してもらいたいと考えます。【坂本】 ・ごみステーションの運営と個別収集への移行について、自治会からの意見聴取を十分に行う必要がある。【安齋】 ・②の「ステーションを維持する取り組み及び戸別収集の継続検討に係る取り組みなどを遂行」とは、例えばどのようなことか。【橋詰】 ・戸別収集の導入にあたり、様々な課題で出てくると想定されるので、市民の意見を丁寧に聞いた上で対応することが必要である。【湯浅】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
(2)環境と安全に配慮した収集・運搬の実施	①環境負荷の少ない収集車両の積極的な導入	導入台数	A	A
	②環境指導員との連携による集積場所の安全確保	研修会及び意見交換会の開催		
	③環境負荷の少ない収集・運搬技術の研究及び積極的な導入	研修会等実施実績		

評価理由

- ・取り組みは評価できる。【大野】
- ・市の評価理由と同じ【舟木】
- ・市の評価理由と同様です。【松山】
- ・努力を認めます。【渡邊】
- ・事務局案のとおりA。【八幡】
- ・各施策が、具体的な成果を生んでいると考えるため。【日高】
- ・環境性能に配慮した車両購入4台や各研修会に実施によりAにしました。【中村】
- ・全ての項目において成果を得られたと考えますので、評価をAとしました。【坂本】
- ・環境負荷の少ない車両が導入され、走行試験ソフトの導入を検討したことからA評価とする。【安齋】
- ・車両を更新したほか、環境指導員会議を開催し、指導員の意見をふまえながら、適切な収集・運搬の実施に努めている。【湯浅】
- ・①更新のタイミング環境性能に配慮出来た車両を導入出来た事。
- ・②～③の課題は多々あれど前向きな姿勢は評価出来る。その為評価をAとした。【堀部】

取組概要に対する意見

- ・現在の取り組みを継続していただきたい。【大野】
- ・特になし【舟木】
- ・走行支援ソフトの研究は引き続き検討を進めていただきたいです。収集終了したのか取り漏れなのか、市民がアプリ等で確認できると市への問い合わせも減り、事務負担の軽減につながるかもしれません。また、災害時においては、道路状況の報告なども、走行支援ソフトを拡張させて出来るとなると、現況確認の補完とともにデジタル情報化ができるなど、有事の際に市職員の目となりうる有益な資源としても活用できそうです。
- 有事の際にも、電話やファックスなどのアナログデータからデジタル化への変換事務工数が減り、復旧に向けた対応にも寄与できるかと考えます。【松山】
- ・既存のごみステーションが使い易く充実しているのなら、その場所の戸別収集は必要ないと思います。(収集担当の労働を少しでも軽く)【渡邊】
- ・環境負荷の少ない収集ルートを検討する上で、新たに拠点設営する際に、現在の収集ルートで収集時左受けが出来る場所への設営を考慮してもらう様にしてもらいたいと考えます。道幅によっては何度も同じ道を走行しなくてはならないようになります。また一方通行沿いの集積所についても、進行方向の右側にあると車両は左寄せでしか停車できない為、歩行者等と接触等の危険もあります。通行量等も考慮の上、検討して頂きたいと思います。【坂本】
- ・人手不足の中、安全に収集を行うための人員の確保が重要になると考えられる。【安齋】
- ・近年、諸物価高騰により車両調達等にも難しさがあるように聞くが、どういった状況か。【橋詰】
- ・地域の状況は随時変化をしていくので、収集ルートの見直しや更新も、継続的に行う必要がある。【湯浅】

項目		評価指標	市の評価	委員評価
2. 中間処理 (1) 中間処理施設の整備	①リサイクルセンターの適正かつ効率的な運営	実施の有無	A	A
	②粗大ごみ処理施設の整備	実施の有無		
	③焼却処理施設の大規模改修	実施の有無		
	④バイオガス化施設整備の基礎調査及び検討【廃止】	実施の有無		
評価理由				
・施設の整備が順調に進んでいる。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同様です。【松山】 ・努力を認めます。【渡邊】 ・各施策が計画通りのためA評価とします。【八幡】 ・目的のための施策として、効果があると判断できるため。【日高】 ・運営全体会議や処理施設の進捗もありAとしました。【中村】 ・全ての項目において、問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・粗大ごみ処理施設の建設工事が、令和8年度4月供用開始に向けて順調に進捗していることからAと評価する。【安齋】 ・リサイクルセンターや焼却処理施設について、セルフモニタリングや修繕を行い、適切な運営に努めている。また、粗大ごみ処理施設の整備に向けて、手続きを着実に進めている。【湯浅】 ・①～③何れも適切に処理されている為評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・ごみ処理の根幹に関わることなので、施設の維持・管理に傾注していただきたい。【大野】 ・特になし【舟木】 ・特にありません。【松山】 ・特にありません。【坂本】 ・大規模改修が完了した後の焼却処理施設の維持管理についての評価となっており、施策のタイトルを検討する際は、計画期間を通しての事業進行を考慮する必要がある。【安齋】 ・③について、大規模改修後年数が経過してきているが、焼却性能の変化状況はどうか。特に、有料化以降のごみ量の減少は施設運転に何か影響を及ぼしているか。【橋詰】 ・中間処理物の品質向上について、具体例の記載があるとわかりやすくなるのではないかと。【湯浅】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
(2)中間処理残渣の減量化・再資源化の促進	①焼却残渣再資源化方法の調査・研究	調査・研究の有無	A	A
	②焼却残渣再資源化の促進	焼却残渣再資源化量		
	③中間処理残渣の減量化・再資源化に繋がる中間処理技術の研究	研修会等への参加実績		
評価理由				
・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価と同様です。【松山】 ・焼却残渣物の再資源化への努力。【渡邊】 ・各取り組みを評価できるのでA評価とします。【八幡】 ・再資源化を模索するにあたり、新規の民間事業者の力を入れようとしている点、資源化量についての達成率の高さ、銅の選別の取り組み、何れも効果あると考えるため。【日高】 ・施策②の目標達成率・前年度比増でAにしました。【中村】 ・全ての項目において、問題ないと考え評価をAとしました。【坂本】 ・中間処理残渣の100%再資源化に向けての準備が進んでいるので、A評価とする。【安齋】 ・銅を有価物として選別・売却していること、焼却残渣の資源残渣の資源化に努めていることが評価できる。【湯浅】 ・数値目標は90%を超えたのと、ヒアリングや現地確認などを行った事、新たに資源化出来るものを選別した事は評価できる為、評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・活動を地道に進めてください。【大野】 ・特になし【舟木】 ・ゴミの総量が減っている中、焼却残渣の資源化量なら増加しているのは大いに評価できます。焼却灰の有価売却先を引き続き調査研究していただきたいです。（搬出先としての持続可能性が高いところ、高値取引をしてもらえるところ、あるいは新たに資源化や有価売却できるようにならないかなど）【松山】 ・貴重な焼却残留物を資源と考えて、努力をお願いします。【渡邊】 ・特にありません。【坂本】 ・中間処理残渣に含まれる金属等の有価物の利用は、ごみ処理経費を補填するのは有効であり、促進してほしい。【安齋】 ・焼却残渣の適切な資源化を推進することが重要と思われる。【湯浅】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
3. 最終処分	①焼却残渣の減量施策の実施	焼却処理量	A	A
	②最終処分場の安全管理の実施	実施の有無		
	③最終処分に関する検討	検討の有無		

評価理由

・市の評価理由に同じ。【大野】
 ・市の評価理由と同じ【舟木】
 ・市の評価理由と同様です。【松山】
 ・努力を認めます。【渡邊】
 ・各取り組みを評価できるのでA評価とします。【八幡】
 ・きめ細やかな施策が、課題解決に寄与していると考えから。【日高】
 ・施策①目標達成率・前年度比増や施設保守点検・安全管理の実施もありAとしました。【中村】
 ・全ての項目において、問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】
 ・最終処分場の適正な管理が行われているので、A評価とする。【安齋】
 ・焼却処理量が減少しているほか、周辺環境の調査を実施し、安全の確保と周辺環境への影響の抑止に努めている点が評価できる。【湯浅】
 ・数値目標は90%超え、施設の安全管理を実施出来た事、各種調査を行い結果を地元関係団体に報告し、意見交換を図ったことから評価をAとした。【堀部】

取組概要に対する意見

・特になし。【大野】
 ・特になし【舟木】
 ・特にありません。【松山】
 ・最終処分場もやがて満杯になるのでしょうか。（今後100年、200年の問題ですから。）【渡邊】
 ・周辺環境調査については、処分場を抱える地域住民にとって安心材料となるため、調査の継続と周知について引き続き取り組んでいただきたい。【日高】
 ・特にありません。【坂本】
 ・特になし【安齋】
 ・最終処分場の運営にあたっては、地域住民との意見交換を密にして、丁寧に理解を得ていくことが求められる。【湯浅】

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
4. 茅ヶ崎市域災害廃棄物の処理	①災害廃棄物の適正かつ迅速な処理体制の構築	実施の有無	A	A
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同様です。【松山】 ・難しい事もありますが、努力を認めます。【渡邊】 ・災害廃棄物の処理フローの計画が完成している。【八幡】 ・各関係機関と事前にこういったやりとりが為されることは、非常に重要だと考えるため。【日高】 ・自治体との意見交換や連絡協議会の実施でAとしました。【中村】 ・全ての項目において、問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・災害廃棄物の処理に関する実地試験に参加し、協力企業との連絡協議会を開催し、対応能力の向上に努めたのでA評価とする。【安齋】 ・神奈川県による実施試験に出席して初動対応の強化を図ったほか、基本協定を締結している事業者と連絡協議会を開き、体制の構築に努めている点が評価できる。【湯浅】 ・意見交換だけで無く、実施訓練が出来た事、協定を結ぶだけでなく、その後も協議を実施したことから評価をAとした。【堀部】 <p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害はいつ発生するか分からないので、早めに市民への周知をお願いしたい。【大野】 ・近隣自治体との実施訓練など情報発信はどのような形でされていますか。【舟木】 ・県の実地試験の内容を本市にもおろして、BCPの更新をすすめていただきたいです。また仮置き場の設置・運営・搬出と、出口の計画のみならず、市民持ち込み、収集体制などもあわせて調査研究をしていただきたいです。【松山】 ・大災害の時、狭い茅ヶ崎のどこに災害廃棄物を捨てる場所があるのでしょうか。【渡邊】 ・特にありません。【坂本】 ・災害廃棄物の処理手順についての市民への周知を進める必要がある。【安齋】 ・茅ヶ崎市災害廃棄物処理計画は令和2年3月の策定だが、近隣自治体ではその改定が行われつつある。茅ヶ崎市ではどうか。【橋詰】 ・引き続き、災害発生時および復興時に適切に対応できる体制の構築に努める。【湯浅】 				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
5. 適正処理 (1)処理困難物等の処理方法 についての情報の充実	①処理困難物の処理方法等につ いての情報の充実	広報実績	A	
	②製品の適正なりサイクルルートの 周知	情報発信の有無		
評価理由				
・市の評価理由に同じ。【大野】 ・個人的には行政側の【積極的な周知を行った】がピンとこないため【舟木】 ・時代に沿った周知方法（SNSの活用など）などは評価できます。【松山】 ・情報発信ができています。【ハ幡】 ・知らないということが、適正処理を難しくしていると感じています。そう考えると施策が有効と考えるため。【日高】 ・ホームページ・SNSでの周知を積極的に行ったことからAにしました。【中村】 ・特に問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・SNSを利用した広報が進められたのでA評価とする。【安齋】 ・処理困難物の処理方法やリサイクルルートの周知を、資料配布やホームページ、SNSなどを通じて推進した。XやInstagramでの 発信は、それぞれ100回前後に達している。【湯浅】 ・様々な情報発信をされた為、評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・現在の活動を継続していただきたい。【大野】 ・ 大型商業施設・鉄道事業者に協力してもらい、フォロワー数を増やすためにQRコード入りポスター掲示を増やさせませんか。【舟 木】 ・埼玉県戸田市のように、処分場の荷受け停止は市民の公衆衛生に甚大な影響を与えるので、火災の要因になりうるリチウム電池 に関しての広報をより力を入れてもらいたいと考えます。【松山】 ・処理手数料を増やしても、処理できる品目を増やしてほしい。家庭には処分できないものが意外と多い。【渡邊】 ・特にありません。【坂本】 ・特になし【安齋】 ・ <u>最近事故報告が多いリチウム電池対応について、この部分又はどこか関連する部分に取組概要等を記載すべき。【橋詰】</u> ・今後とも、処理困難物に関する情報の発信は重要である。【湯浅】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
(2)不法投棄に対する防止策の検討	①重点地域・強化期間等を定めたパトロール・監視の強化	パトロール・監視実績	A	A
	②県や警察との協力関係の強化	パトロール・監視実績		
	③市民、事業者と連携した不法投棄の防止	不法投棄量		
	④キャンペーン等啓発活動の実施	活動実績		
	⑤不法投棄に関する調査・研究の実施	調査・研究の有無		

評価理由

- ・市の評価理由に同じ。【大野】
- ・市の評価理由と同じ【舟木】
- ・市の評価理由と同様です。【松山】
- ・各取り組みを評価できるのでA評価とします。【八幡】
- ・不法投棄が行われる地区に居住していますが、考えられる施策を着実に実行いただいていると感じます。効果も上がっているのではないかと感じるため。【日高】
- ・施策③不法投棄量の前年比減やパトロール・監視の実績もありAとしました。【中村】
- ・全ての項目において、問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】
- ・不法投棄対策が着実に実行されているので、A評価とする。【安齋】
- ・県や警察との連携も含めて、パトロールや監視体制は強化されている。また、多発地域の住民と意見交換をしている点も評価できる。【湯浅】
- ・努力されていると思うし、結果も出ている為評価をAとした。【堀部】

取組概要に対する意見

- ・不法投棄には警告・処罰など厳格に対応していただきたい。【大野】
- ・パトロール監視実績が不法投棄量の減少に繋がっていると感じる。ありがとうございます。不法投棄されていない状態を保つことが一番の不法投棄対策と感じる。【舟木】
- ・不法投棄件数が増えていることに懸念があります。毎年6月第一日曜日にやっている、「美化キャンペーンクリーン茅ヶ崎」のようなものを、「里山キャンペーンクリーン茅ヶ崎(仮)(小出地区)」でも、秋口に開催するのはいかがでしょうか。山側の不法投棄に対しての市民の当事者意識醸成と、たくさんの目で監視されていることを各媒体で露出していくことにより、不法投棄件数の抑制を促す。また、山側でのクリーン活動を通して、あらたな不法投棄場所の把握にも一翼を担う可能性があると考えます。【松山】
- ・地域住民によるチェックが重要と思います。(夜遅くに通行のトラック等のチェックなど)【渡邊】
- ・不法投棄量は減少しているが、件数が増加しているので今後は件数も減少する様に対策をしなくてはと思います。【坂本】
- ・特定力所での不法投棄が多いので、監視カメラの増設が必要ではないか?。【安齋】
- ・小出地区やそれ以外の多発地区における従来からの変化、対策効果はどうか。【橋詰】
- ・総量は減ったものの件数は増えている。多発地域の住民はかなり困っていると思われるので、対策をさらに強化していくことが求められる。【湯浅】

【基本方針Ⅲ】市民・事業者・行政の協力体制及び4Rの推進を誘発する支援体制の確立

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 広報紙等各種媒体の利用による啓発の充実	①広報手法・広報内容の検討及び効果的な啓発の実施	実施の有無	A	A
	②ホームページ、ハーモニアスちがさき(市の広報番組)等の積極的な活用	実施の有無		
	③公共施設等におけるポスター掲示の活用	実施の有無		
	④外国人向けごみ情報の案内	実施の有無		
評価理由				
・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同じです。【松山】 ・ごみ収集の刷紙等はわかり易く、良いと思います。【渡邊】 ・目標が達成されている。【八幡】 ・できうる啓発等が着実に実施されていると考えるため。【日高】 ・ホームページをはじめ各広報活動等の実施によりAとしました。【中村】 ・全ての項目において、問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・ごみに関する広報は十分に実施されているので、A評価とした。【安齋】 ・ホームページに戸別収集に関する特設ページを設けたほか、外国人向けの資料を作成してホームページに掲載するなど、様々な取り組みを通して啓発活動と周知に努めていると評価できる。【湯浅】 ・戸別収集されている所は以前と比べ、状況はかなり良くなってきたと思う。また、啓発も様々な手段を用いているのは評価できる為評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・ごみに関する意識は高まっていますが、継続していくことが必要だと思います。【大野】 ・特になし【舟木】 ・特にありません。【松山】 ・4Rを初めて知りました。わかり易くしてもらいたい。【渡邊】 ・多言語でのアナウンス、本当に大切と考えます。多様性の時代にどう向き合っていくのか、これからも様々な方法での取り組みをお願いします。【日高】 ・特にありません。【坂本】 ・特になし。【安齋】 ・④について、効果・評判はどうか。【橋詰】 ・高齢者の方にはインターネットよりも紙媒体の方が伝わりやすいということもありえるなど、個々人の特性を念頭においた広報活動をさらに展開していくことが必要である。【湯浅】 ・外国人だけでは無いが、知っていてもルールを無視する人は後を絶たないが、特に外国人の場合、言葉が通じない為自治会でも苦労している(英語圏の人間だけではない為)【堀部】				

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
2. ごみ問題に関連した市民対話・環境学習等の充実	①ごみ問題に関する市民との意見交換会の実施(重点施策)	実施実績	A	
	②発生抑制、資源化に関する講演会の開催	開催実績		
	③児童向け環境学習への市職員の派遣	派遣実績		
	④親子向け、市民グループ向け等多方面への廃棄物処理施設見学会の実施	実施実績		
	⑤市民、事業者向け講座の開催	開催実績		
	⑥環境フェアにおける情報発信	開催実績		

評価理由

- ・市の評価理由に同じ。【大野】
- ・平日市外で働く労働人口(=市民)との対話・環境学習が実施されているかわかりづらいため【舟木】
- ・市の評価理由と同じです。【松山】
- ・計画した施策を評価できるのでA評価。【八幡】
- ・様々な機会を利用しての、講座や学習の展開は子どもや市民の意識変容をねらうものとして、重要と考えます。それぞれの施策が、それぞれに効果的だと考えたため。【日高】
- ・施策④施設見学会を35回開催や意見交換会等の実施によりAとしました。【中村】
- ・全ての項目において、問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】
- ・特になし。【安齋】
- ・自治会や学校への出前講座や環境学習会により、意見交換や学習の機会を設けている。環境事業センターの見学会も実施している。【湯浅】
- ・③だけ実施出来なかったが、他は全て実施出来た為評価をAとした。【堀部】

取組概要に対する意見

- ・ごみに関する意識は高まっていますが、継続していくことが必要だと思います。【大野】
- ・**平日市外で働く労働人口(=市民)との対話・環境学習(夕方からのWebでの意見交流などの機会提供など)に工夫があると良いのではと感じる【舟木】**
- ・環境事業センター施設見学会の回数と、延べ人数の前年対比や目標値があると評価の材料になるかと考えます。【松山】
- ・市民のごみ減量等の意識が少ない人が多い。【渡邊】
- ・ゴミの専門家としての授業展開は、学校として大変ありがたいです。引き続き取り組みをお願いします。【日高】
- ・特にありません。【坂本】
- ・特になし。【安齋】
- ・コロナ禍の影響も残っているかもしれないが、今後も様々な形で機会を提供していくことが重要と思われる。【湯浅】

第2編 生活排水処理基本計画

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
基本目標	生活排水処理率	生活排水処理率	A	A
<p>評価理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同じです。【松山】 ・努力を認めます。【渡邊】 ・目標達成率が99.8%のためA。【八幡】 ・目標の達成と新たな取り組みが評価できると考えたため。【日高】 ・目標達成率99.8%でありAとしました。【中村】 ・問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・目標を達成していることからA評価とする。【安齋】 ・下水道接続の推進について、継続的に取り組みを進めている。【湯浅】 ・数値目標を90%超えの為、評価をAとした。【堀部】 				
<p>取組概要に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。【大野】 ・特になし【舟木】 ・100%まで残り2-3パーセントの話かと思います。未接続人口あるいは未接続設備数などの実数での評価指標も検討もされた方が良いかと思います。(例えば、今年度100箇所接続予定うち何パーセント進捗できたか)【松山】 ・駒寄川に明らかに生活排水が流れている箇所があります。上流の方から雨水の側溝に排水を流しているのでは。【渡邊】 ・特にありません。【坂本】 ・あって当たり前と思われ、高い達成率を求められる事業であるので、数値目標の達成だけでなく、保守整備に関する問題点についても評価する必要があるのではないかと【安齋】 ・未接続世帯の数は限られてきている。それぞれの事情により接続できていないとも考えられるので、個別事情の考慮も必要になるのではないかと。【湯浅】 				

【基本方針Ⅰ】公共下水道(汚水)・合併処理浄化槽の整備促進による生活排水処理の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 公共下水道(汚水)・合併処理浄化槽の普及推進	①公共下水道(汚水)整備事業の推進	汚水面整備率	A	A
	②水洗化奨励金制度等の活用による公共下水道への接続の促進	水洗化普及率		
	③補助制度の周知による合併処理浄化槽への転換の促進	補助事業により合併処理浄化槽を設置した基数		
評価理由				
・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同じです。【松山】 ・事務局案のとおり。【八幡】 ・施策が、着実に実行され効果をあげていると考えるため。【日高】 ・汚水面整備率の目標達成率・前年度比率や他の数値も良いことからAとしました。【中村】 ・問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・汚水面整備率、水洗化普及率が向上したことからA評価とする。【安齋】 ・合併浄化槽補助も実績があり、成果が見て取れる。【橋詰】 ・汚水整備率を上昇させているほか、茅ヶ崎エフエムなどの媒体を通して、広報を進めている点が評価できる。合併処理浄化槽の設置についての補助も進めている。【湯浅】 ・①～②は目標数値90%超えの為、③は目標数値を超えた為評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・あとわずかのところに多大な労力がかかっているようなら、思い切った施策も必要では。【大野】 ・特になし【舟木】 ・接続率が既に高い水準であり、新たな媒体を通して促進を図ることもさることながら、直接訪問による促進など個別施策が必要かと考えます。【松山】 ・調整区域内の下水道が無い地域の排水先の調査が必要と思う。水路に排水か、浸透マスか。【渡邊】 ・特にありません。【坂本】 ・単独処理浄化槽の設置数を把握したうえで、合併処理浄化槽への転換率を評価指標として設けるべきではないか。【安齋】 ・目標の達成に向けて、個別事情も考慮した丁寧な取り組みを行うことが望まれる。【湯浅】				

【基本方針Ⅱ】安定した収集・運搬と、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1.し尿及び浄化槽汚泥の適正処理	①し尿及び浄化槽汚泥量の変化に対応した収集・運搬計画	計画策定	A	A
	②し尿処理施設の適正な維持・管理	実施の有無		
評価理由				
・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同様です。【松山】 ・目標が達成できているのでA。【八幡】 ・施策として、効果があると考えるため。【日高】 ・収集運搬計画の策定や寒川町との適正な維持管理からAとしました。【中村】 ・問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・し尿処理と浄化槽汚泥の処理が計画通り行われたのでA評価とする。【安齋】 ・一般廃棄物処理計画に基づき、し尿および浄化槽汚泥の処理を適切に進めている。【湯浅】 ・適切に収集運搬と施設の維持管理が行われた事から評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・特になし。【大野】 ・特になし【舟木】 ・年間処理量の記載がありますが、予定数量や前年対比など比較対象があると、適正量なのかが伝わってくるかと考えます。【松山】 ・市によるデータ管理の必要性。【渡邊】 ・自宅に浄化槽を設置している場合、汲み取りの依頼を忘れがちになることがあります。ネットでの申し込みや、前回の汲み取りからの期間に応じた時期の通知・アナウンスがあると便利だと感じます。【日高】 ・特にありません。【坂本】 ・特になし。【安齋】 ・寒川町との連携も含め、引き続き、適切な処理のできる体制を維持することが必要である。【湯浅】				

【基本方針Ⅲ】水環境の向上に向けた啓発活動等の推進

項目	施策	評価指標	市の評価	委員評価
1. 啓発及び情報提供	①浄化槽の清掃の啓発	活動の有無	A	A
	②広報紙等による情報発信（重点施策）	活動実績		
評価理由				
・市の評価理由に同じ。【大野】 ・市の評価理由と同じ【舟木】 ・市の評価理由と同じです。【松山】 ・目標が達成できているのでA。【八幡】 ・施策が、一定の効果を生んでいると考えるため。【日高】 ・複数の媒体で情報発信を行ったことからAにしました。【中村】 ・問題ないと考え、評価をAとしました。【坂本】 ・浄化槽の適切な維持に向けた活動が行われたので、A評価とする。【安齋】 ・適切な管理のための情報発信と、法に基づいた検査を着実に進めている。【湯浅】 ・利用者に直接効果的な啓発を実施出来た事、複数の媒体で情報発信をされたことから評価をAとした。【堀部】				
取組概要に対する意見				
・現在の取り組みを継続してください。【大野】 ・特になし【舟木】 ・特にありません。【松山】 ・所有者への個別訪問によるチェック、指導。改善意識の無い一部の人が自発的に改善するとは思えない。【渡邊】 ・特にありません。【坂本】 ・特になし。【安齋】 ・②「法定検査について不適正と判断された浄化槽」とは、どのような状態だったのか、その後の改善は？【橋詰】 ・不適切と判断された浄化槽の管理者への指導について、どのように修繕がなされたのかの説明があるとわかりやすいと思われる。【湯浅】				